

まちの話題



敷田朋ノ実さんが審査員特別賞を受賞

3月16日、筑豊高校1年の敷田 朋ノ実さん(16)が国土交通省主催の河川愛護月間「絵手紙」で審査員特別賞(高校生の部)を受賞し、市長を表敬訪問しました。河川愛護月間(7月1日～31日)における活動の一環で、「川遊び～川での思い出・川への思い～」をテーマに全国から絵葉書作品を募集したものです。

令和2年度の募集では全国829点の応募があり、20点の作品が入賞しました。敷田さんの作品は福岡県から唯一の入賞で、高校生の部で審査員特別賞を受賞しました。

敷田さんは「自然が好きで、遠賀川水辺館のめだかの学校にも参加してきました。受賞するとは思わなかったのでうれしい」と喜びの声をあげました。



明治安田生命と協定締結

3月12日、直方市と明治安田生命保険相互会社との包括連携に関する協定締結式を市庁舎で行いました。この協定は、両者が有する人的・物的資源を有効に活用することで、地域の一層の活性化や市民サービスの向上等を図ることを目的に締結しました。明治安田生命保険相互会社では、健康づくり支援や地域社会の豊かな生活への貢献を行っています。

市長は「大変ありがたい。様々な形でまちづくりや市民の健康に取り組んでいければ」と話しました。また同社の北九州支社長・篠原学さんは「微力ながらお役に立てることをうれしく思う。健康寿命の延伸や地域活性化に貢献していきたい」と語りました。



筑豊高校書道部が選挙看板作成

3月23日、筑豊高校書道部7人が市内に配置される福岡県知事選挙の看板書きに取り組みました。書道部顧問の黒木みのり教諭は「新型コロナウイルス感染症の影響で、書道部の発表の機会が失われていた。皆さんに見てもらえる場を探す中で選挙看板に行き着いた」と話しました。

選挙看板は、「期日前投票所」や「第一投票所」など21種類を作成。横60センチメートル、縦160センチメートルの用紙に、造像記、行書といった様々な書体で書かれているのが特徴です。完成した書は、直方市選挙管理委員会に届けられ、各

投票所に配置されました。部長の竹森萌絵さん(17)は「できるだけ目立つように書いた。少しでも政治に興味を持ってもらい、投票所に行ってくれば」と期待を込めました。





直方ボーイズが西日本王者に

3月31日、市内の中学硬式野球チーム「直方ボーイズ」が春日市西野球場で開催された第19回西日本選抜優勝大会(3月27日開催)で優勝し、報告のため市庁舎を訪れました。同大会(中学生の部)は、西日本エリアの16チームが参加するトーナメント制。直方ボーイズは1回戦から順調に勝ち上がり、決勝で福岡志免ボーイズに3対2で勝ち、西日本王者に輝きました。

市長は「おめでとう。体力と知力をさらにつけて、来年もぜひ優勝を」と話しました。決勝戦でピッチャーを務めた女子キャプテンの永富千紘さん(14)は「優勝が決まった瞬間うれしかった。その前の準決勝は投げなかったので、チームのがんばりを無駄にできないと思って投げた」と振り返りました。



中心市街地にIT事業者3社が新たに仲間入り

3月30日、市内にオフィスを開設するIT事業者らが直方駅前公園で記者発表会を開催しました。市に進出するのは、株式会社アリオンシステム(岡山市)、フリップワークス株式会社(福岡市)、ワンネスコーポレーション(直方市)の3社。市では先進的IT技術で、市内産業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進すると共に、まちの活性化に取り組んでいます。

市長は挨拶で「市に来てくれて、大変うれしく思う。今年は直方市のDX元年と位置付けている。3社の発展と共に、まちの活性化につながれば」と期待を込めました。事業者らは「市のパワーにひかれ、進出を決めた。私たちが培ってきたIT技術で貢献したい」と抱負を語りました。



のおがたに元気と希望を！！

4月8日、河川敷にチューリップの花びらを地面に敷き詰めて、大きな絵が描かれました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「のおがたチューリップフェア」は開催中止となりましたが、色鮮やかに咲いた10万本のチューリップは、多くの人に楽しまれました。今年開催であれば25回目の節目を迎える予定だったチューリップフェア。主催する市観光物産協会は「来年こそは笑顔でいっぱいのおがたチューリップフェアを開催したい」と期待を込めました。



全国高校選抜

ラグビーフットボール大会で優勝

4月7日、第22回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会で優勝した、東福岡高校のラグビーフットボールチームに所属する蔵森晟さん(直方市在住)が、優勝報告に訪れました。蔵森さんは5試合中4試合で先発として出場。No.8として自慢のフィジカルを活かし、好アシストやトライを決めました。直近の目標は高校ラグビーの4冠。「選抜、ワールドユース、セブンス、花園の4冠獲得のため、4月末のワールドユースを獲りにいきます」と語りました。市長は「競争の中ポジションを勝ち取り、活躍するのは日頃の練習の賜物。直方の誇りとして頑張っしてほしい」とエールをおくりました。



市のホームページでは、この他の話題も公開しています。

